

青森駅周辺整備

【計画段階】

【景観審議会資料】

都市整備部都市政策課

青森駅周辺のこれから

昭和63年 3月 青函連絡船廃止
平成22年12月 東北新幹線全線開業
平成28年 3月 北海道新幹線「新青森・新函館北斗間」開業



3度の交通環境の変化

現在(平成29年4月)も



〔青森駅〕

JR奥羽本線・津軽線、青い森鉄道線の1日約140本の列車の発着

〔駅前広場〕

市営バス、民営バス、都市間バスなど、1日約880便のバスの発着

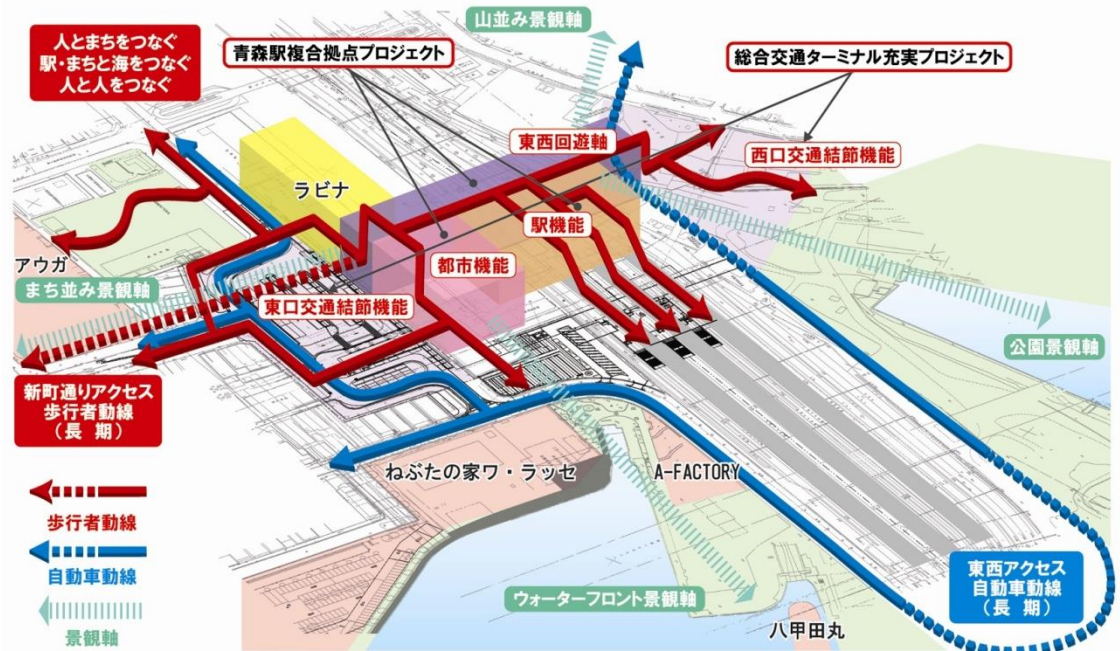
引き続き公共交通の中心

青森駅を中心としたまちづくり基本計画

青森駅及び駅周辺地区の特性を活かして、「人・まち・海」を「つなぐ」ことをコンセプト

■「東西回遊軸(自由通路)」「駅機能(駅舎)」「都市機能(都市施設)」を一体的に展開(青森駅複合拠点プロジェクト)

■東口駅前広場に加え西口交通結節機能などを整備(総合交通ターミナル充実プロジェクト)



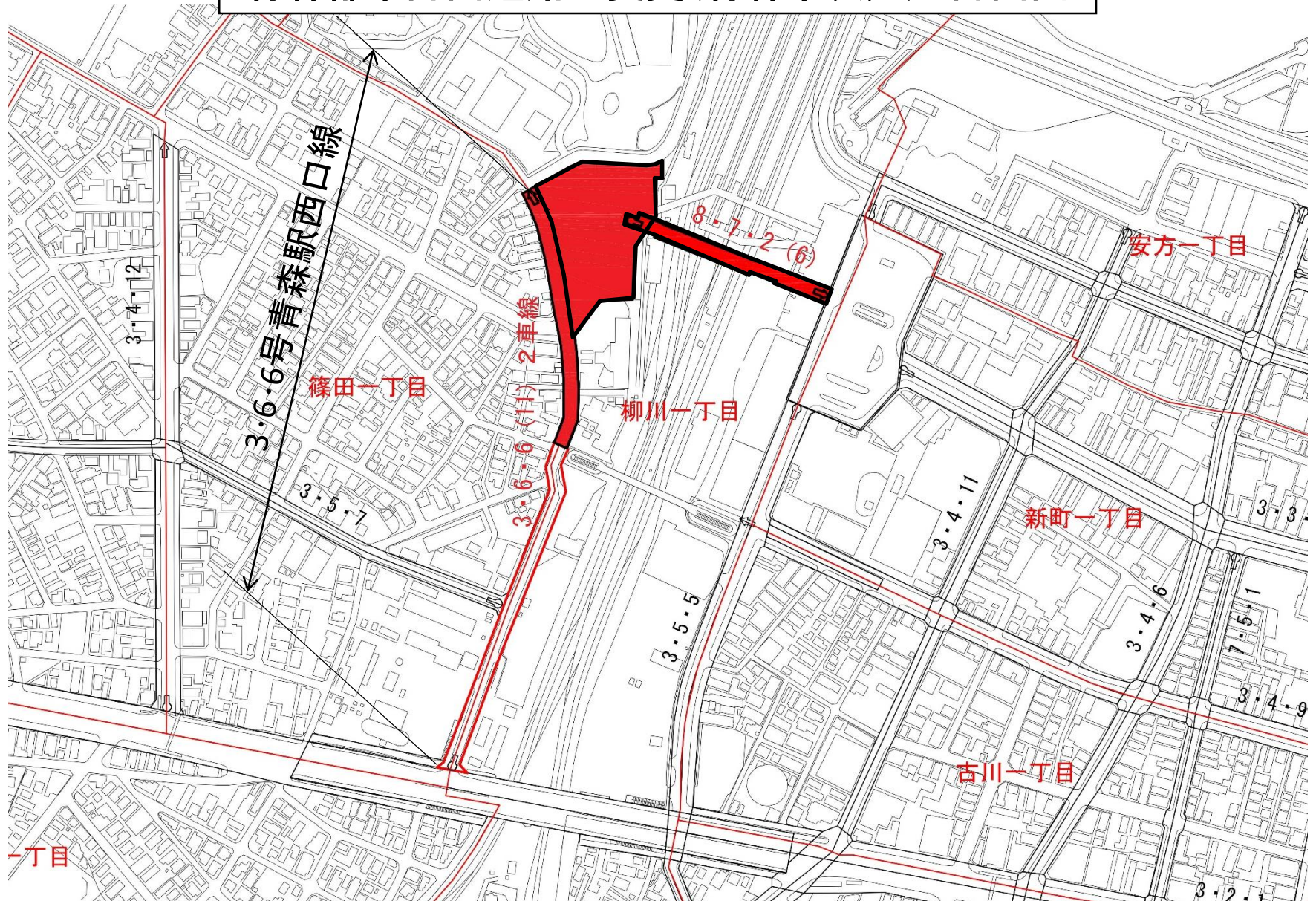
平成24年2月策定

都市機能整備の基本方針

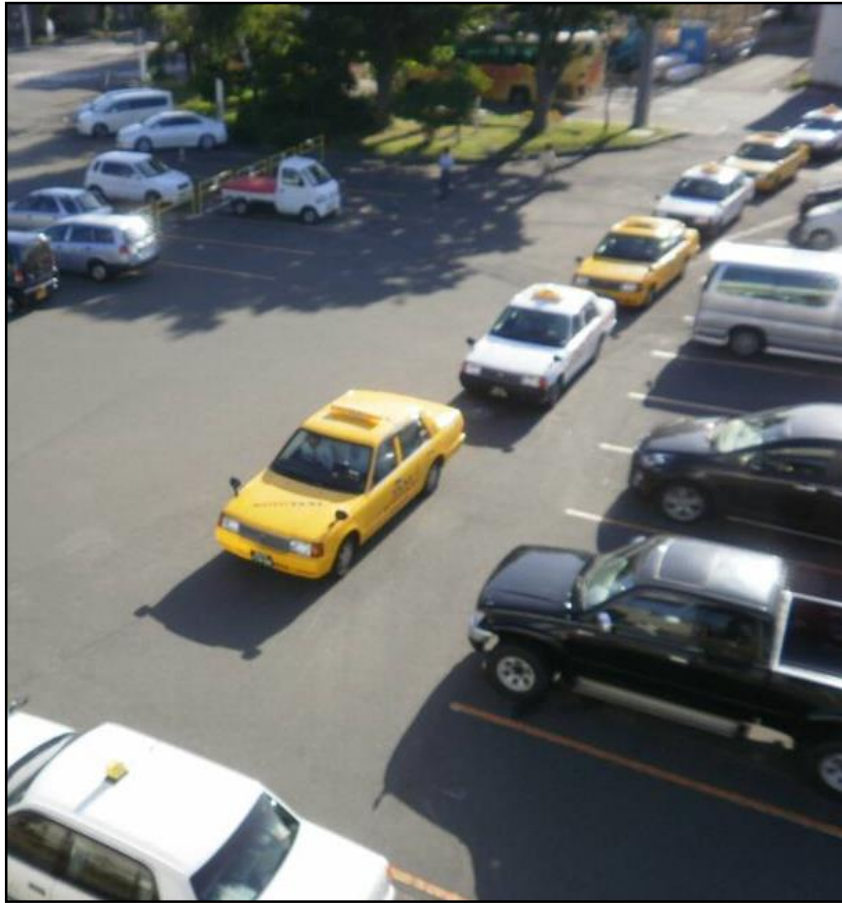
- 商業・サービス施設(民間)と公共公益施設(行政)の複合化
- 自然に人が集まる陽だまりをイメージする「あずましい人だまり空間」
- 公共公益施設は再配置・集約化等を基本に、子育て支援機能、子どもを育む機能
市民が交流活動する拠点機能、情報発信機能、行政サービス機能を整備

3・6・6号青森駅西口線(西口駅前広場)

青森都市計画道路の変更(青森市決定) 計画図



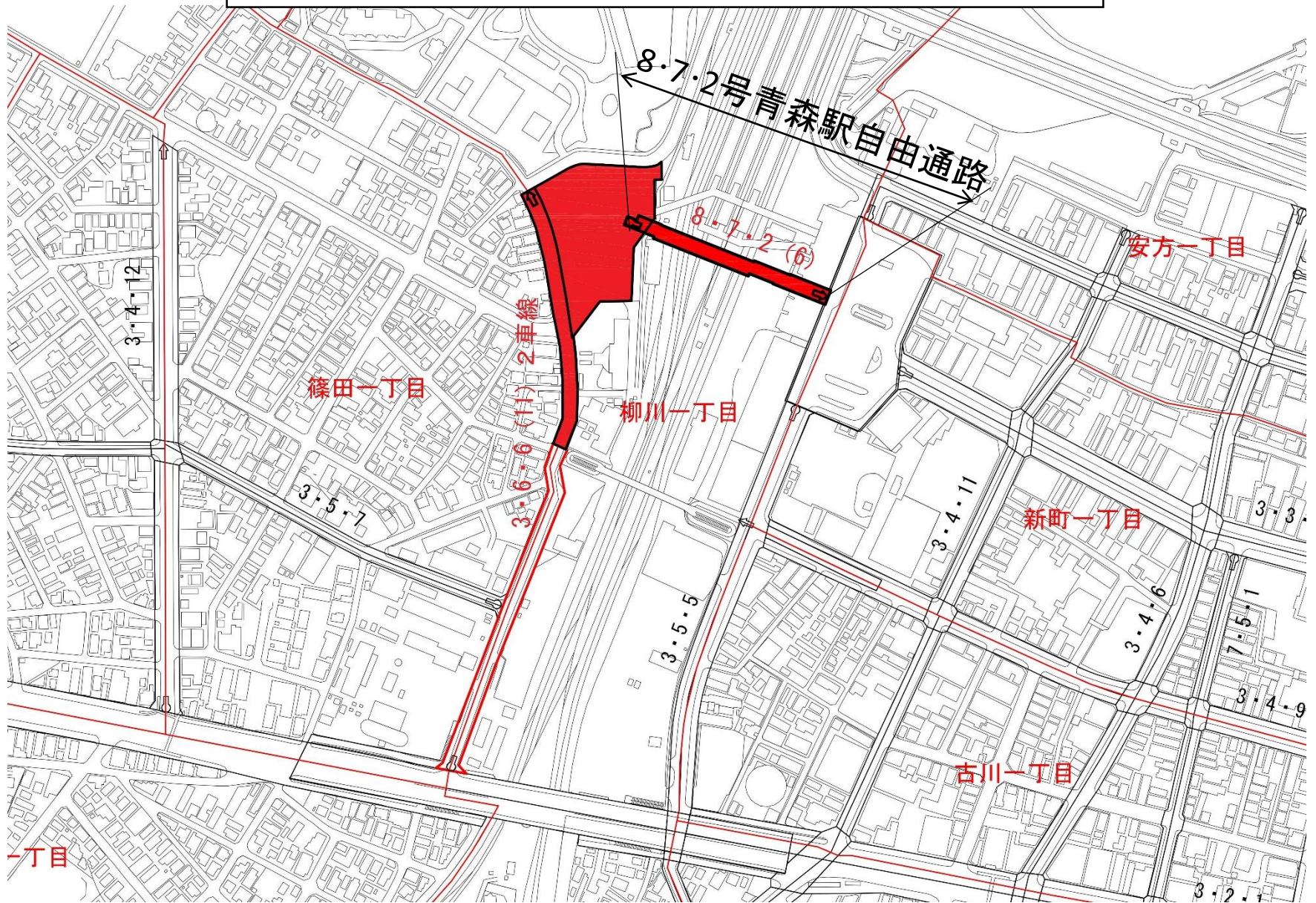
青森駅西口の状況



青森駅西口における交通の輻輳状況

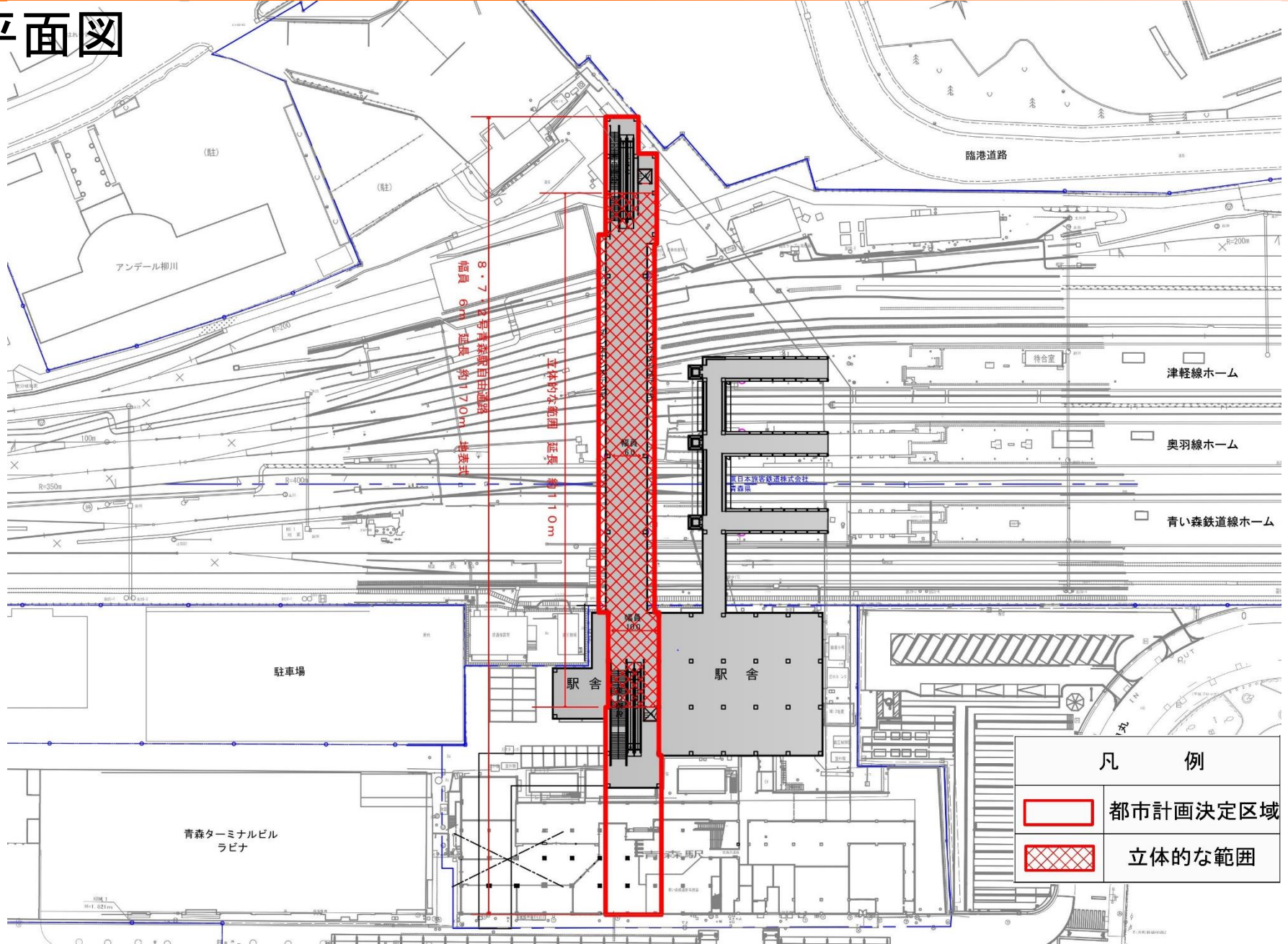
8・7・2号青森駅自由通路

青森都市計画道路の変更(青森市決定) 計画図



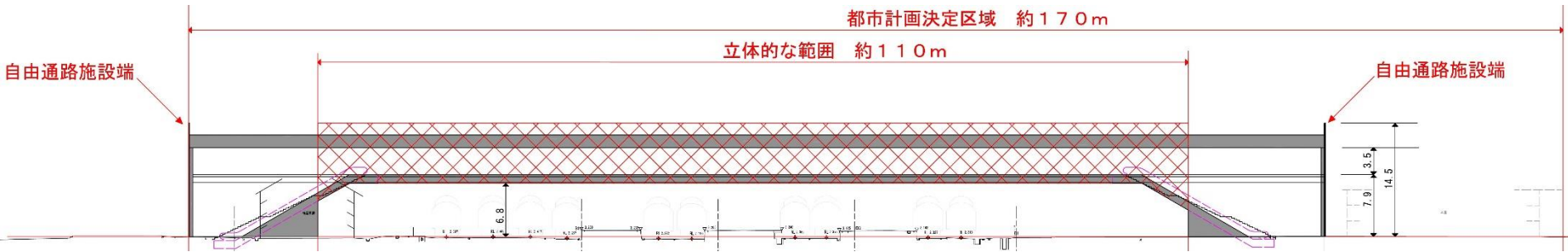
8・7・2号青森駅自由通路

平面図

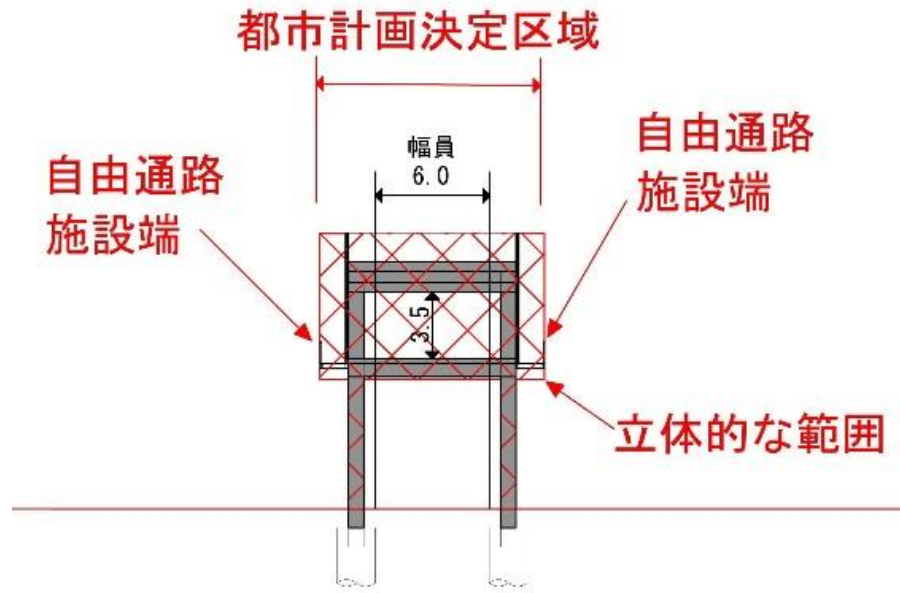


8・7・2号青森駅自由通路

縦断面図



横断面図



凡 例	
	都市計画決定区域
	立体的な範囲

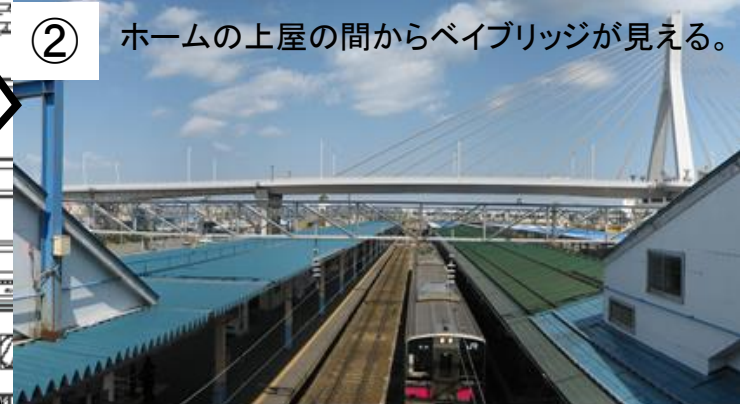
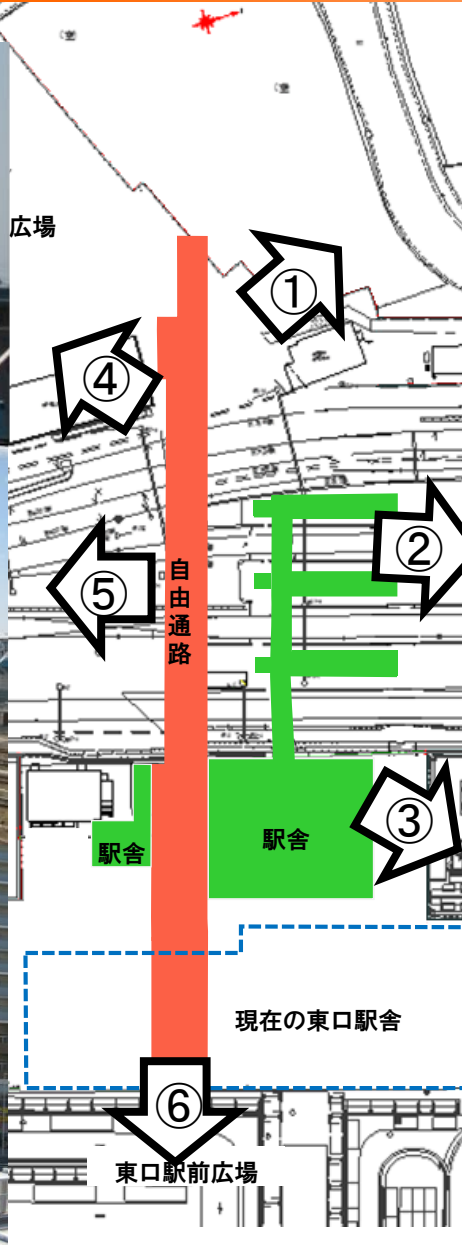
今後のスケジュール(予定)

基本設計 H28

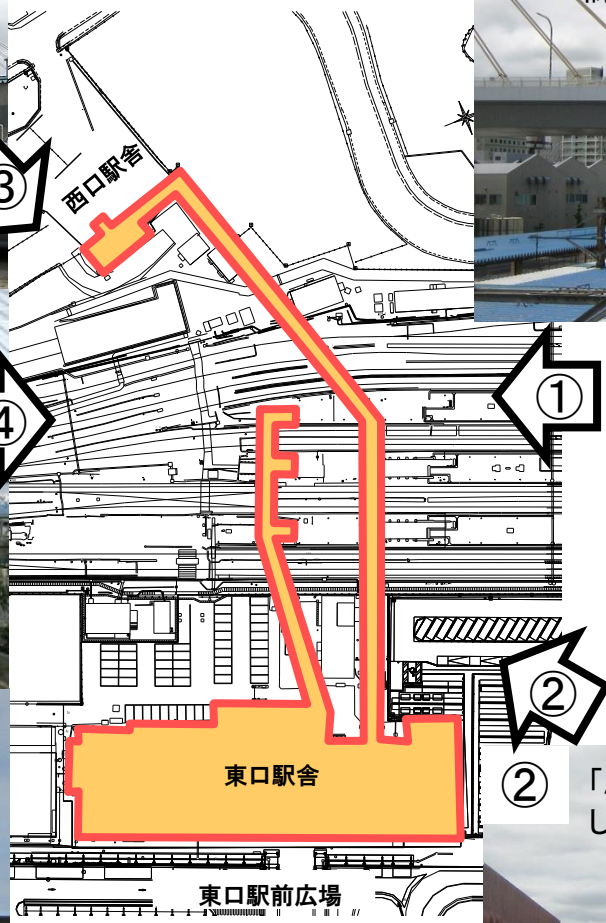
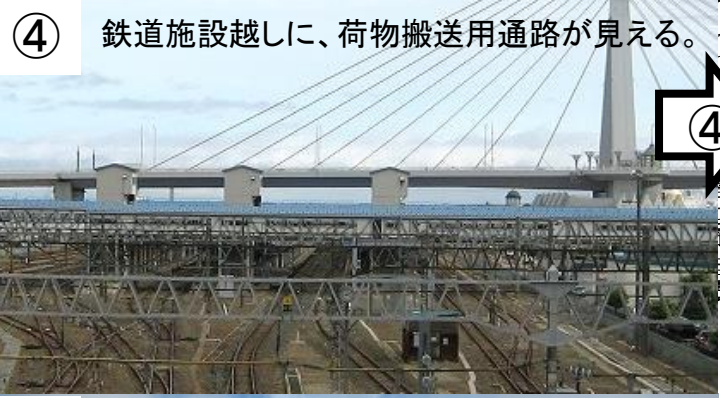
実施設計 H29

用地補償・工事 H30～H32

青森駅からの周辺景観(イメージ)



周辺から見た青森駅の状況



自由通路のデザイン案

■青森駅自由通路デザインコンセプト

青森、情景を感じるみち

プロムナード
青森の豊かな自然、その四季折々の魅力ある眺望を愉しむ遊歩道

デザインテーマ

案1

「青森の海、山、空を感じる回廊」

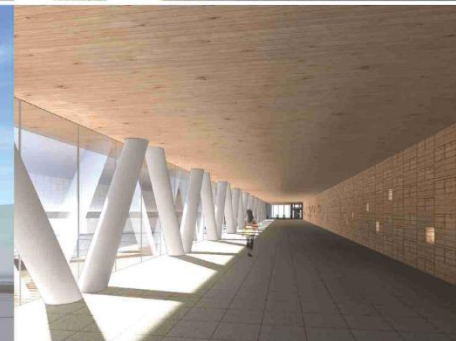
青森の顔として、人々をやさしく迎え入れるゲート。
海と山と空、青森の眺望を絵画フレームのように
切取って魅せるギャラリー空間。



案2

「木の温もりと親しみを感じる回廊」

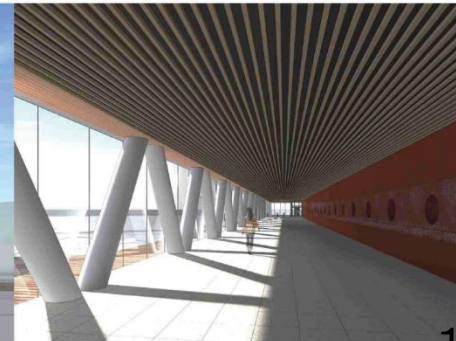
森や山々の豊かな緑に恵まれた青森、
そのイメージを象徴するナチュラルな木調の内外装。
駅前の原風景である積まれたりんご箱を想起させる
温もりと親しみの空間。



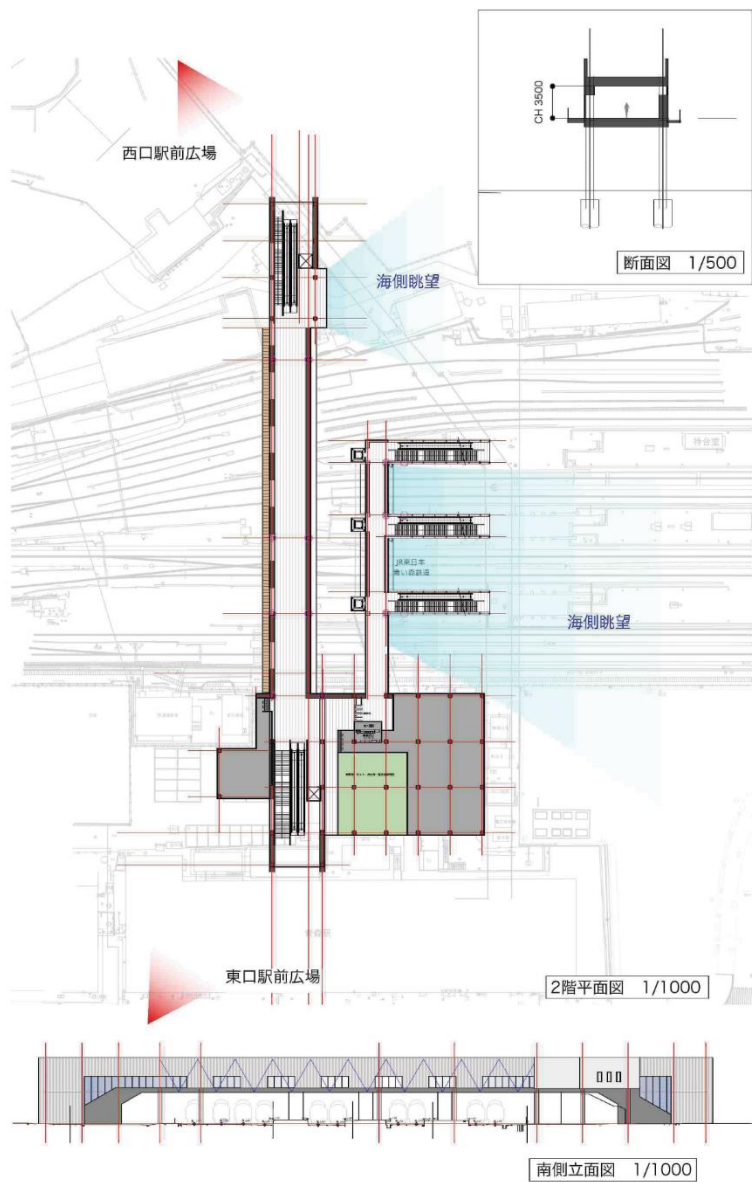
案3

「過去と未来をつなぐ回廊」

交通の結節点 = 交流の拠点、青森。
連絡船と呼応するような大きな船を思わせる曲面天井が
おおらかに迎える。
歴史を重んじながらも新しい青森の発展を予感させる空間。



自由通路のデザイン案1(外観)



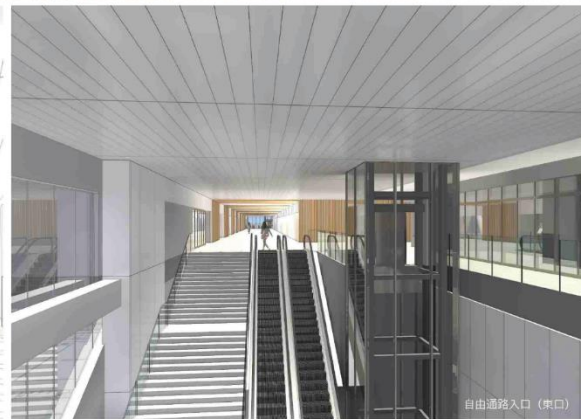
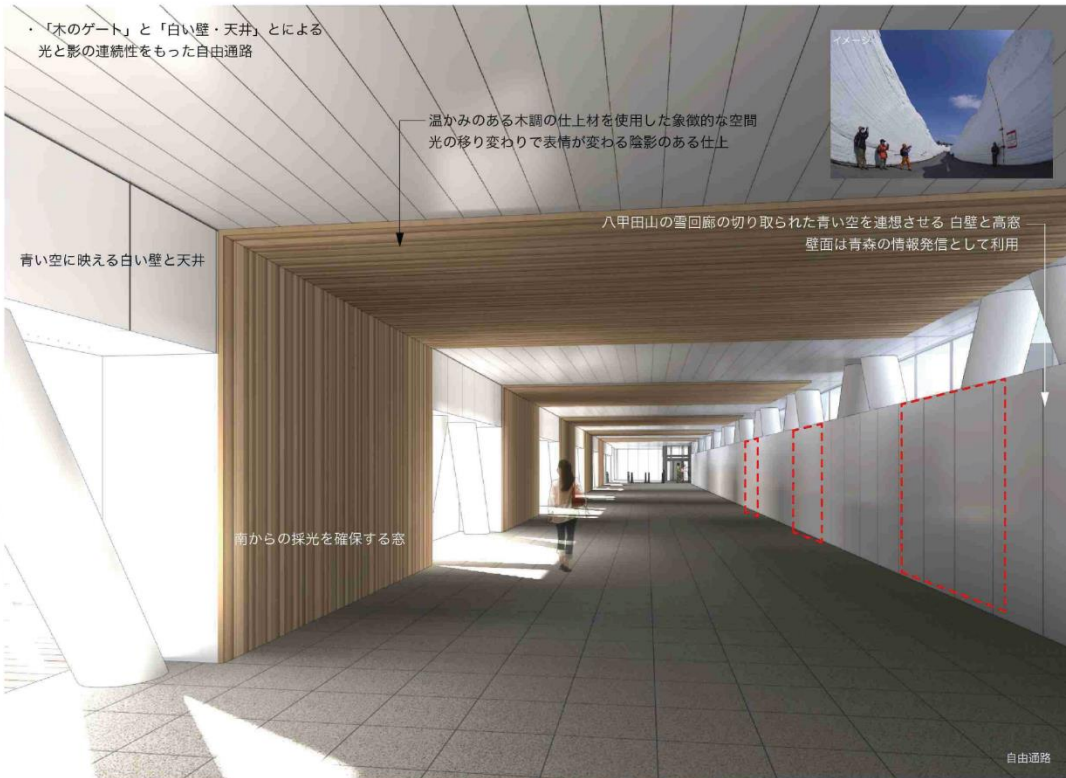
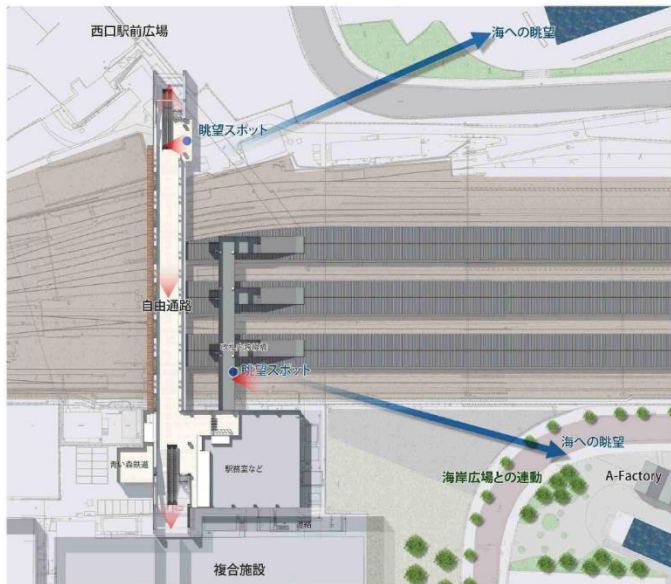
案1

「青森の海、山、空を感じる回廊」

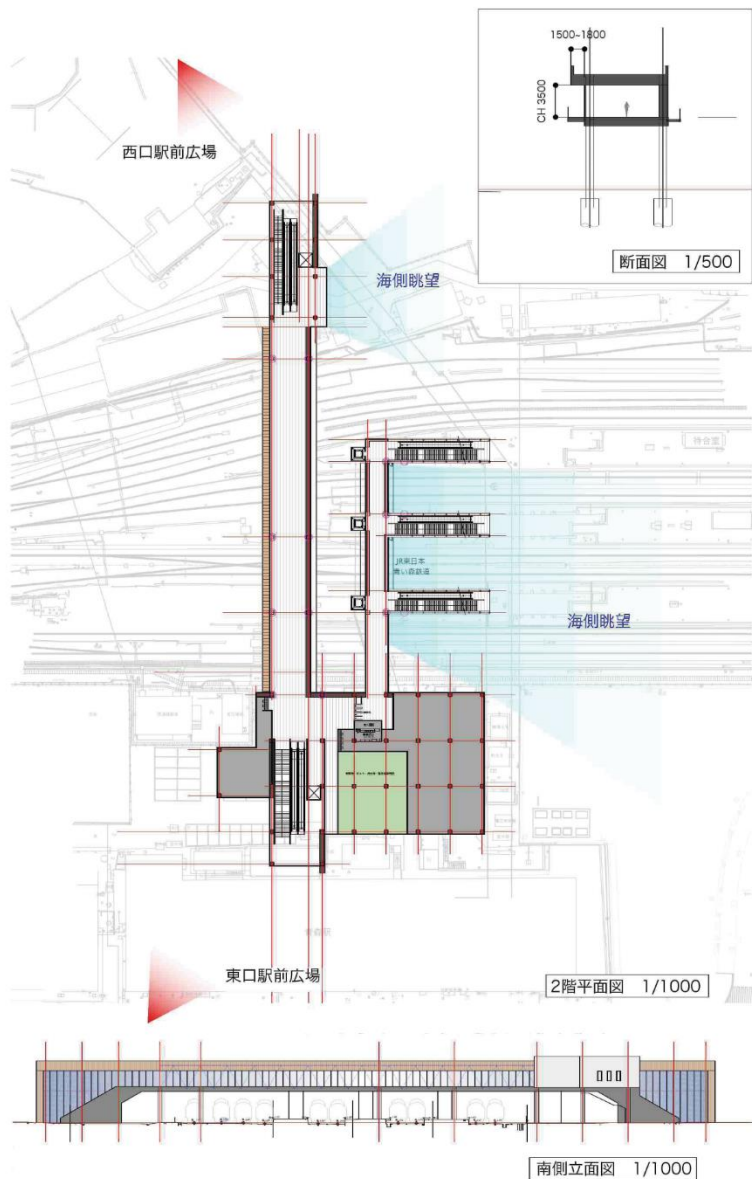
青森の顔として、人々をやさしく迎え入れるゲート。
海と山と空、青森の眺望を絵画フレームのように
切取って魅せるギャラリー空間。



自由通路のデザイン案1(内観)



自由通路のデザイン案2(外観)



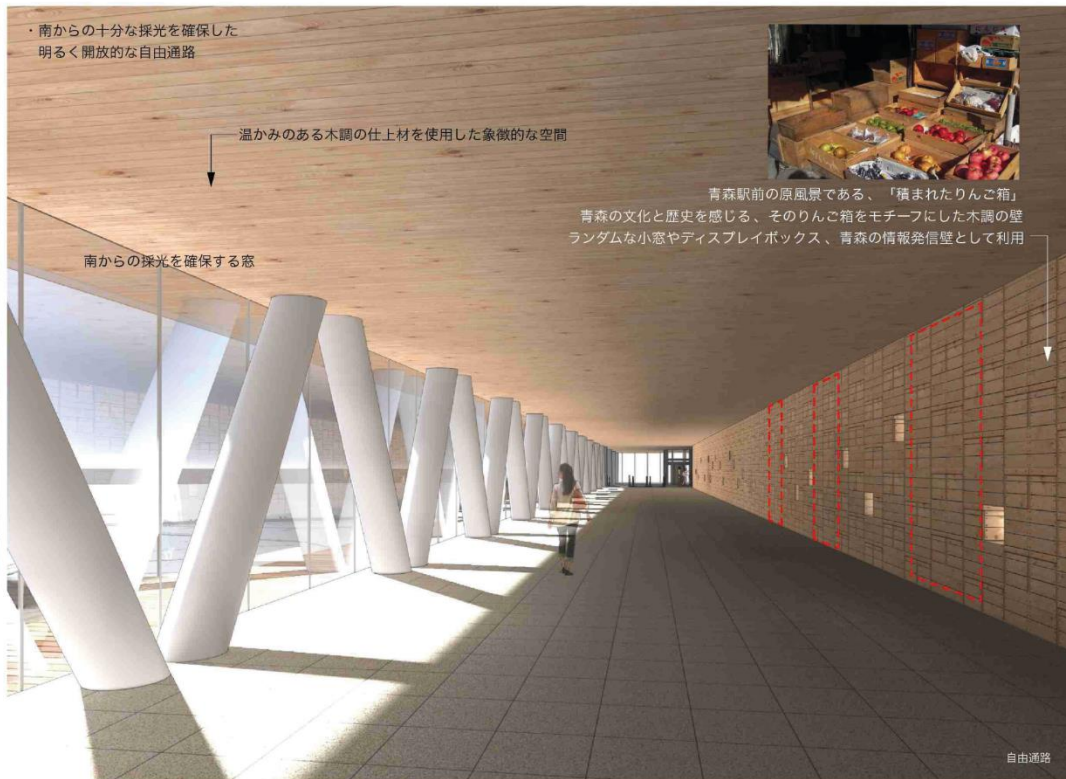
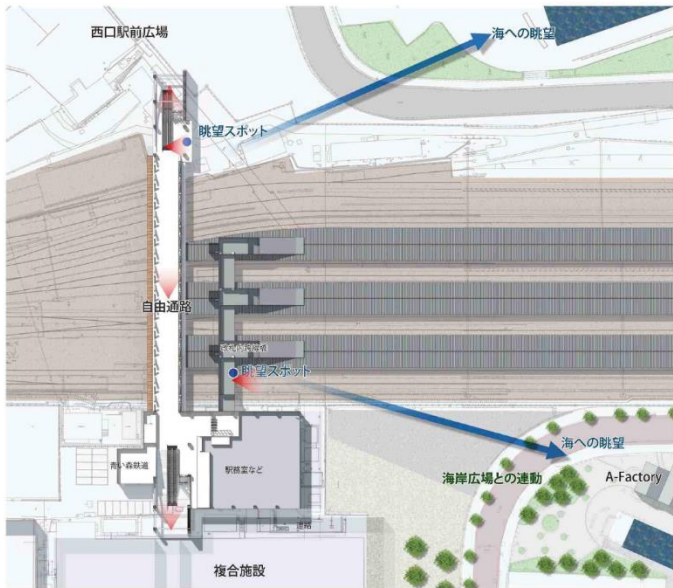
案2

「木の温もりと親しみを感じる回廊」

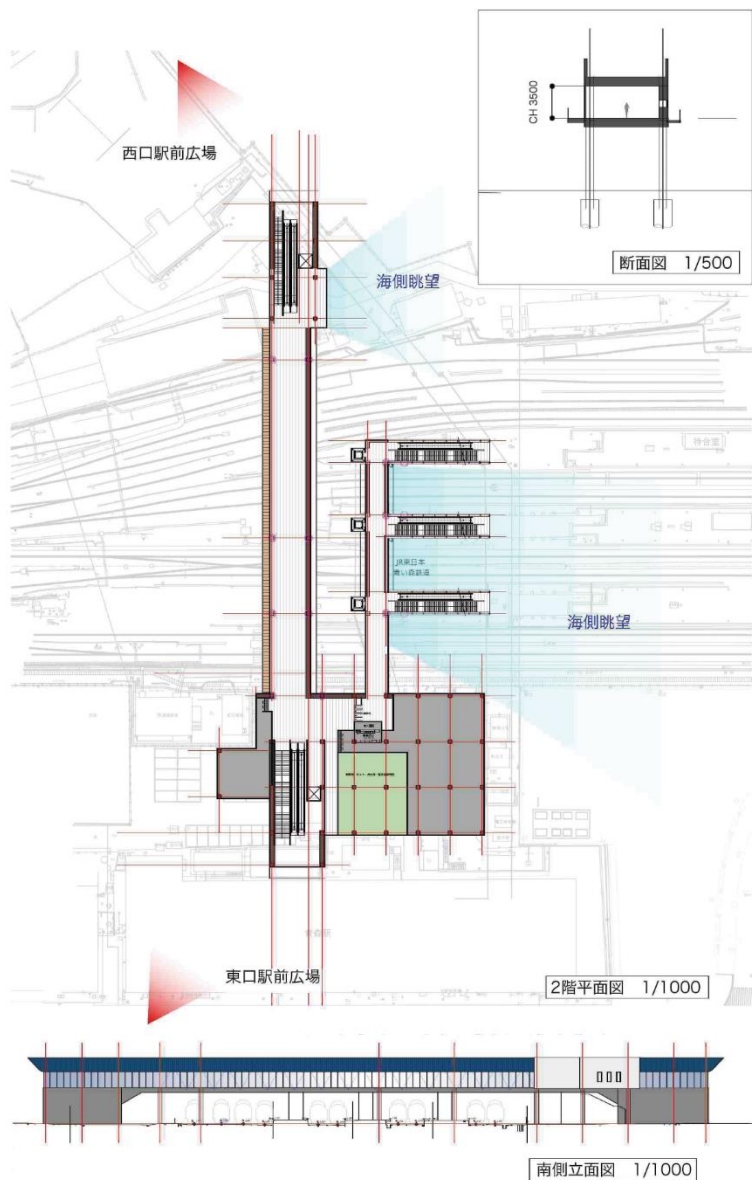
森や山々の豊かな緑に恵まれた青森、
そのイメージを象徴するナチュラルな木調の内外装。
駅前原風景である積まれたりんご箱を想起させる
温もりと親しみの空間。



自由通路のデザイン案2(内観)



自由通路のデザイン案3(外観)



案3

「過去と未来をつなぐ回廊」

交通の結節点 = 交流の拠点、青森。

連絡船と呼応するような大きな船を思わせる曲面天井が
おおらかに迎える。

歴史を重んじながらも新しい青森の発展を予感させる空間。



自由通路のデザイン案3(内観)

